

第8次大和市総合計画「成果を計る主な指標」の進捗状況調査表

めざす成果	成果を計る指標	前期基本計画期間						後期基本計画期間				計算式等
		計画策定時の値	把握年月	2011実績値(H23)	中間目標値(H23)	2013実績値(H25)	最終目標値(H25)	2014実績値(H26)	2015実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)	
市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる	1 自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	60.2%	2008.6	63.1%	69.0%	63.3%	75.0%	—	—	69.0%	75.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	2 肺がん検診受診率	4.7%	2008.3	15.0%	20.0%	16.3%	27.5%	16.9%	19.6%	21.5%	27.5%	肺がん検診受診者数/職域等で肺がん検診を受診していない40歳以上の対象者×100
心身の健康を維持・増進するための体制が整っている	3 65歳以上のインフルエンザ予防接種受診率	38.4%	2008.3	33.4%	46.0%	35.0%	50.0%	36.0%	34.1%	50.0%	50.0%	65歳以上インフルエンザ予防接種者数/65歳以上人口×100
	4 自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺死亡者数)	20.2人	2008.3	20.9人	17.7人	20.7人	16.4人	17.6人	—	15.5人	15.5人	自殺者数(人口動態統計に基づく実数)/人口(10/1現在)×100,000
いざというときに診療を受けられる	5 休日夜間急患診療所(一次救急)の年間患者取扱件数	10,919件	2008.3	12,725件	11,200件	12,586件	11,260件	12,642件	12,400件	14,000件	14,000件	休日や夜間に受け入れた内科や小児科の軽症患者の年間受診者数
	前期まで 二次救急での中度・重度患者年間取扱件数	3,118件	2008.3	3,486件	3,540件	3,264件	3,860件					病院群輪審判での、中度・重度患者の年間取扱件数(4月～3月)
	6 二次救急での中度・重度患者の割合					12.5%		11.9%	13.2%	15.3%	17.2%	中度・重度患者数/総受診者数
市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている	前期まで 医師の総数	65人	2008.4	74人	79人	77人	79人					年度当初の常勤・嘱託・任期付短時間勤務医師数
	7 地域の診療所等から市立病院に紹介された患者の割合	28.3%	2008.3	45.5%	38.0%	50.0%	42.0%	52.8%	54.9%	60.0%	65.0%	{(文書による紹介初診患者数+救急車による搬送患者数)/初診患者数}×100
	8 患者満足度調査における満足度の割合					87.9%		88.8%	87.4%	93.0%	94.0%	外来患者、入院患者に対する満足度調査で測定
	前期まで 市立病院における経常収支比率	88.9%	2008.3	102.2%	100.0%	105.2	100.0%					経常収益/経常費用×100
高齢者が生き生きと暮らしている	9 高齢者が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合	47.6%	2008.6	54.6%	50.0%	56.6%	52.0%	—	—	56.0%	57.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	10 シルバー人材センターの会員数	688人	2008.3	896人	1,200人	901人	1,300人	891人	902	1,020人	1,090人	年度末会員数
	11 介護予防講座受講者数					424人		495人	594	457人	536人	介護予防に係る各種講座の受講者実数
必要な介護サービスの支援が受けられる	12 介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合	35.9%	2008.6	47.3%	50.0%	46.8%	50.0%	—	—	55.0%	65.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	13 介護サービス利用者の満足度の割合	75.1%	2008.3	—	78.0%	65.3%	80.0%	—	—	65.0%	70.0%	大和市長高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査による
	前期まで 介護保険申請制度の周知割合	71.1%	2007.11	86.5%	85.0%	声かけ訪問調査未実施	100.0%					70歳以上の人しきいない世帯全てを対象とした「声かけ訪問調査」で測定
障がい者が地域の中で自立した生活を送っている	14 障がい者の地域移行率	21.5%	2008.3	33.7%	29.4%	40.3%	33.4%	43.6%	44.6%	43.1%	45.2%	グループホーム入所者/(施設入所者数+長期入院患者数+グループホーム入所者数)×100
お互いに助け合う地域の関係ができていく	15 地域に支え合う人のつながりがあると思う市民の割合	36.6%	2008.6	41.9%	40.0%	43.2%	43.0%	—	—	44.0%	46.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
社会保障のしくみが安定的に維持されている	16 国民健康保険制度における特定健康診査の受診率					34.5%		35.1%	34.8%	55.0%	60.0%	40歳以上の大和市民国民健康保険加入者が、特定健康診査を受診した割合(法定報告値)
	17 保護受給世帯のうち、働ける世帯(その他世帯)の割合					19.1%		17.5%	15.3%	20.6%	20.0%	働ける世帯(その他世帯)数/保護受給世帯総数×100

めざす成果	成果を計る指標	前期基本計画期間						後期基本計画期間				計算式等
		計画策定時の値	把握年月	2011実績値(H23)	中間目標値(H23)	2013実績値(H25)	最終目標値(H25)	2014実績値(H26)	2015実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)	
子どもの心身の健康が保たれている	18 妊婦健康診査の平均受診回数	4.5回	2008.3	10.5回	14.0回	10.5回	14.0回	11.0回	10.9回	14.0回	14.0回	妊婦健康診査受診数(補助券使用枚数)／妊婦健康診査補助券交付数×14回
	19 4ヶ月児健康診査の受診率	96.1%	2008.3	96.6%	97.5%	96.6%	98.0%	97.4%	98.3%	98.0%	98.0%	健康診査を受診した児の数／健康診査対象児の数×100
	前期まで 肥満児童・生徒の割合	1.72%	2008.3	1.27%	1.56%	2.17%	1.53%					肥満傾向の児童生徒数／検査人数×100
	20 小学校の給食残食率(野菜)					11.0%		11.0%	11.0%	10.0%	8.0%	野菜料理の残食重量／提供食重量×100
子どもの人権と安全な生活環境が守られている	21 学校PSメール世帯普及率					85.6%		83.8%	87.9%	93.0%	97.0%	登録世帯数／児童・生徒の全世帯数×100
	22 子どもの交通事故の市内発生件数	171件	2008.12	145件	140件	95件	130件	77件	82件	120件	110件	中学生以下の子どもの交通事故の年間市内発生件数(1月～12月)
子どもが夢や目標をもって学んでいる	前期まで 将来の夢や目標をもっていると考えた児童生徒の割合	75.0%	2007.11		76.0%	80.6%	78.0%					児童生徒を対象としたアンケート調査(小5・中2)で測定
	23 将来の夢や目標をもっていると考えた児童・生徒の割合(小5)					92.4%		91.2%	90.1%	89.0%	89.0%	小学校5年生と中学校2年生を対象としたアンケート調査で測定
	将来の夢や目標をもっていると考えた児童・生徒の割合(中2)					70.6%		71.4%	75.4%	71.5%	72.0%	
	24 児童・生徒の1か月の平均読書冊数(小4～6)					12.2冊		11.2冊	12.3冊	13.5冊	14.0冊	小学校4～6年生と中学校1～3年生を対象としたアンケート調査で測定
不登校やいじめの問題が少なくなっている	25 不登校児童・生徒の割合(小)					0.40%		0.51%	0.58%	0.29%	0.25%	不登校児童・生徒数／全児童・生徒数×100
	不登校児童・生徒の割合(中)	4.54%	2008.3	3.34%(H22)	3.80%	3.52%	3.00%	3.19%	3.34%	2.51%	2.22%	
	26 いじめ問題の解消率(小)					95.4%		96.0%	98.1%	100.0%	100.0%	文部科学省による、児童生徒の問題行動等調査による
	いじめ問題の解消率(中)					98.6%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
子どもが個性・能力にあった教育を受けている	27 子どもの個性や能力にあった教育が行われていると思う市民の割合	27.8%	2008.6	32.5%	35.0%	36.5%	40.0%	—	—	35.0%	40.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	前期まで 小・中学校少人数指導等非常勤講師の充足率	79.3%	2008.4	88.0%	85.0%	85.7%	90.0%					配置できた学年(市単・県研究指定校)／対象となる学年×100
	28 特別支援教育ヘルパー充足率	79.0%	2008.4	88.2%	95.0%	93.3%	100.0%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	特別支援学級に在籍する児童・生徒の介助等を行うヘルパー数／ヘルパー適正数×100
子どもが様々な体験をしながら育っている	29 放課後子ども教室参加率					7.7%		6.7%	8.0%	9.0%	10.0%	全放課後子ども教室における1日あたりの平均参加者数の合計／全児童数
	前期まで 放課後子ども教室実施校	1校	2009.3	19校	19校	19校	19校					放課後子ども教室実施校数
	30 児童館の1日あたりの平均利用者数(全22館)	502人	2008.3	441人	506人	442人	506人	473人	437人	450人	450人	年間利用者総数／年間平均開館日数
	前期まで 中高生ボランティア参加者数	33人	2008.9	25人	44人	22人	53人					青少年センターのボランティア体験に参加した生徒数
31 中高生ボランティア参加者数					110人		83人	79人	120人	125人	「天和市民まつり」で青少年指導員を手伝う中学生ボランティア、「こどもと遊ぶ」中高生ボランティア、「青少年センターまつり中学生ボランティア」の参加者数	

めざす成果	成果を計る指標	前期基本計画期間						後期基本計画期間				計算式等
		計画策定時の値	把握年月	2011実績値(H23)	中間目標値(H23)	2013実績値(H25)	最終目標値(H25)	2014実績値(H26)	2015実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)	
安心して子育てをしている	32 子育てに関する不安を相談できる場があると思う市民の割合	40.7%	2008.6	47.7%	45.0%	50.0%	50.0%	—	—	55.0%	60.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	33 つどいの広場の1か所1か月あたりの平均利用者数					1,911人		1,957人	1,771人	2,100人	2,200人	(市内「こどもーる」における年間利用児童数+保護者数)÷(施設数×12か月)
	前期まで つどいの広場の1ヶ月あたりの平均利用者数(3歳未満児)	1,645人	2008.12	2,118人	2,000人	1,911人	2,400人					市内2ヶ所の「こどもーる」における3歳未満児の年間利用者数÷12ヶ月
働きながら子育てができています	前期まで 保育所の待機児童数	46人	2008.4	97人	36人	147人	30人					厚生労働省の待機児童の算出基準に基づいて算出した4月1日の待機児童数
	34 保育所の入所定員数					1,700人		2,177人	3,109人	3,005人	3,185人	「子ども・子育て支援計画」における保育所の入所定員数
	35 放課後児童クラブの待機児童数	0人	2008.4	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	放課後児童クラブ入所希望者数-入所者数
災害に対して自ら備えをしている	36 地域防災訓練を実施している自治会の割合	59.0%	2008.3	60.5%	63.0%	76.8%	65.0%	67.5%	72.7%	76.0%	78.0%	地域防災訓練を実施している単位自治会数/全単位自治会数×100
	37 市と避難行動要支援者名簿を共有している自治会の割合					78.9%		92.8%	100.0%	74.0%	78.0%	避難行動要支援者名簿を共有している単位自治会/全単位自治会数×100
	38 住宅の耐震化率					89.1%		89.9%	91.1%	91.5%	93.2%	耐震性のある住宅戸数/住宅全戸数×100
防災・減災のためのしくみが整っている	39 地域で広域避難場所が知られていると思う市民の割合	62.9%	2008.6	66.8%	64.4%	70.2%	65.4%	—	—	69.8%	70.3%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	前期まで 非常食糧の備蓄率	100.0%	2009.3	91.1%	100.0%	173.2%	100.0%					神奈川県東部地震に対して想定している非常食糧の備蓄率
	40 指定避難所等の非常食糧の備蓄率					100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	東京湾北部地震に対して想定している非常食糧の備蓄率
	41 防災講話の受講団体数					23団体		24団体	47団体	55団体	60団体	市が実施する防災講話を受講した団体数
都市の防災機能が充実している	42 防災上重要な公共建築物の耐震化率	92.0%	2008.3	96.6%	94.3%	98.8%	96.0%	98.8%	99.4%	99.4%	100.0%	耐震性のある棟数/全棟数×100
	43 雨水整備率	66.5%	2008.3	68.1%	68.0%	68.4%	69.0%	68.6%	68.7%	68.7%	69.0%	公共下水道による浸水対策整備済み区域面積/事業認可区域面積×100
	前期まで 準用河川引地川の改修率	57.0%	2008.3	66.7%	66.4%	66.7%	68.0%					改修済延長/河川延長×100
十分な消防力が整っている	44 火災発生率(人口1万人あたりの火災発生件数)	3.0件	2007.12	2.8件	2.7件	2.5件	2.6件	3.0件	1.8件	2.7件	2.6件	火災発生件数(1月～12月)/人口×10,000
	45 救命講習受講者資格取得者数(累計)	10,190人	2007.12	18,051人	16,190人	24,474人	19,190人	27,594人	31,233人	28,000人	35,000人	救命講習修了者数
	46 救急車の医療機関到着までの所要時間					36.8分		37.8分	38.0分	36.0分	36.0分	覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した所要時間の合計/搬送人員
	前期まで 救急車の現場到着までの所要時間	6.2分	2007.12	7.0分	6.2分	7.5分	6.2分					119番受付から救急車の現場到着までの所要時間の合計/総出動件数

めざす成果	成果を計る指標	前期基本計画期間						後期基本計画期間				計算式等
		計画策定時の値	把握年月	2011実績値(H23)	中間目標値(H23)	2013実績値(H25)	最終目標値(H25)	2014実績値(H26)	2015実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)	
犯罪の不安を感じることなく暮らしている	47 以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合	34.8%	2008.6	46.0%	40.0%	52.9%	50.0%	—	—	48.8%	50.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	48 年間犯罪発生件数	4,040件	2008.12	2,841件	3,750件	2,482件	3,500件	2,317件	2,390件	2,230件	2,100件	犯罪の年間市内発生件数(1月～12月)
	前期まで 防犯パトロールを実施している自治会の割合	66.3%	2008.7	73.2%	70.0%	80.3%	80.0%					防犯パトロールを実施している自治会数/全自治会数×100
	49 自主防犯活動団体数					188団体		188団体	188団体	212団体	228団体	市内で地域の防犯活動を自主的・継続的に実施する団体数
交通事故の不安を感じることなく暮らしている	50 交通人身事故発生件数	1,499件	2008.12	1,344件	1,400件	1,009件	1,300件	845件	805件	1,200件	1,100件	市内の交通事故の年間発生件数(1月～12月)
	51 交通安全教室等参加者数(イベントを除く)	18,640人	2008.3	16,253人	20,000人	20,520人	22,000人	18,404人	20,645人	22,000人	23,000人	イベントなどの参加者を除いた交通安全教室等の参加者数
安心して消費生活を送っている	52 消費生活相談の苦情件数のうち完結済みの割合	96.0%	2008.3	96.1%	97.0%	99.1%	98.0%	99.3%	98.7%	99.5%	99.5%	(相談件数-継続件数)/相談件数×100
	53 家庭用品品質表示法・製品安全4法に係る立ち入り検査による適正表示の割合	100.0%	2009.3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	検査の結果適正な表示とした品目/検査品目×100
航空機による被害のない生活を送っている	前期まで うるささ指数(W値)	88.1	2008.3	89.3	通減させるよう取り組みます	89.2	通減させるよう取り組みます					W値:WECPNL/加重等価継続感覚騒音レベル
	54 時間帯補正等価騒音レベル(Lden)					72.8		71.8	72.2	通減させるよう取り組みます	通減させるよう取り組みます	夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した1日の等価騒音レベルを算出し、全測定日についてパワー平均を算出したもの
二酸化炭素の排出量が削減されている	55 環境に配慮している人が多いと思う市民の割合	45.9%	2008.6	49.3%	57.0%	49.9%	67.0%	—	—	62.0%	67.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	56 1990年度と比較したエネルギー供給量等に基づく二酸化炭素排出量の割合	110.2%	2008.3	108.2%	97.0%	103.2%	91.0%	102.7%	107.2%	84.1%	79.2%	当該年度二酸化炭素排出量/1990年度二酸化炭素排出量×100
ごみの減量化、資源化が進んでいる	前期まで ごみの量(家庭系ごみ)	37,278t	2008.3	38,388t	37,135t	38,616t	36,720t					市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量×365日×10月1日現在の人口
	前期まで ごみの量(事業系ごみ)	20,270t	2008.3	17,683t	19,132t	17,809t	18,471t					年度あたりの事業系ごみ排出量
	57 市民一人1日あたりのごみ排出量					457g		448g	443g	420g	412g	1年間の家庭ごみ発生量(ごみ)/人口/365日
	58 リサイクル率	24.3%	2008.3	21.9%	26.0%	22.5%	27.4%	22.2%	23.4%	30.0%	32.0%	実際に資源化された量/廃棄物の総排出量×100
59 59 59 59	59 59 59 59					29.3%		36.4%	51.4%	45.0%	55.0%	1年間のごみ焼却残渣のうち、資源化施設へ輸送し資源化を行った量の割合
ごみのない清潔なまちが維持されている	60 美化推進月間クリーンキャンペーン参加者数	4,100人	2008.3	4,713人	4,500人	3,791人	4,700人	4,323人	3,584人	5,000人	5,200人	毎年11月に実施している大和市美化推進月間クリーンキャンペーンの参加者数

めざす成果	成果を計る指標	前期基本計画期間						後期基本計画期間				計算式等
		計画策定時の値	把握年月	2011実績値(H23)	中間目標値(H25)	2013実績値(H25)	最終目標値(H25)	2014実績値(H26)	2015実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)	
河川の水質が保たれている	61 生物化学的酸素要求量(BOD)(境川)	3.6mg/l	2008.3	2.0mg/l	3.0mg/l以下	1.8mg/l	3.0mg/l以下	1.3mg/l	境川 1.4mg/l	3.0mg/l以下	3.0mg/l以下	境川及び引地川の水質平均値
	生物化学的酸素要求量(BOD)(引地川)	2.2mg/l	2008.3	1.2mg/l	2.0mg/l以下	1.7mg/l	2.0mg/l以下	1.0mg/l	引地川 1.0mg/l	2.0mg/l以下	2.0mg/l以下	
	前期まで 水洗化率	94.7%	2008.3	98.0%	96.0%	99.4%	97.0%					水洗化人口/処理区域内人口×100
生活を脅かす環境要因が改善されている	62 下水道出前授業の実施校数					20校		20校	20校	20校	20校	小学校4年生を対象とした下水道の仕組みや役割についての授業の実施校数
	63 環境基準項目不適合率	7.4%	2008.3	7.0%	5.7%	6.8%	4.3%	6.8%	5.4%	4.2%	4.2%	環境基準超過項目数/当該年度測定環境基準項目数×100
緑地が保全され、まちの中の緑化が進んでいる	64 公害苦情件数	145件	2008.3	114件	139件	129件	136件	109件	112件	113件	111件	苦情受付、現地調査、事業所への指導まで行った件数
	65 大和市には、緑や公園が多いと思う市民の割合	63.9%	2008.6	68.0%	64.4%	68.9%	64.8%	—	—	69.5%	70.5%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	66 民有地に設置された生垣延長(累計)	394m	2008.3	570m	500m	604.2m	570m	614.3m	620.1m	680m	720m	みどり助成で設置された生垣延長の累計
身近な農地が大切にされている	67 保全を図っている緑地面積	92.9ha	2008.3	90.0ha	92.9ha	89.5ha	92.9ha	90.8ha	90.4ha	92.9ha	92.9ha	大和市と賃貸借契約などで保全を図っている緑地面積+行政で所有している緑地面積
	68 農地の利用権設定面積	2.8ha	2008.3	4.4ha	3.9ha	5.2ha	4.0ha	5.5ha	5.6ha	5.0ha	5.2ha	利用権設定面積の合計
	前期まで 市民農園応募者数	592人	2008.2	570人	600人	508人	600人					市民農園応募者数
市街地の整備が計画的に進んでいる	69 市民農園区画数					863区画		863区画	860区画	900区画	950区画	市内全市民農園の利用区画数
	70 土地区画整理事業などによる市街地整備の割合	57.7%	2008.3	58.1%	58.1%	58.1%	60.4%	58.1%	58.1%	60.2%	60.4%	土地区画整理事業等実施面積/市街化区域面積×100
	71 ブロムナードにおける1日あたりの通行者数	21,933人	2008.7	24,195人	22,500人	24,207人	23,000人	—	23,535人	25,850人	26,350人	ブロムナードにおける平日1日あたりの通行者数
良好なまち並みが形成されている	72 渋谷(南部地区)土地区画整理事業の進捗率	60.2%	2008.3	80.7%	80.7%	94.8%	95.0%	99.5%	99.8%	100.0%	—	整備済面積/施行地区全体の整備予定面積×100
	73 大和市は、良好なまち並みが形成されていると思う市民の割合	40.9%	2008.6	44.7%	45.0%	48.8%	50.0%	—	—	50.0%	52.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	前期まで 地区計画、建築協定、街づくり協定などルール化された地区数の累計	31件	2009.3	29件	34件	30件	35件					ルール化した件数の合計
道路や公園を快適に利用している	74 地区計画、建築協定、地区街づくり協定などルール化された面積(累計)					121.7ha		121.7ha	121.7ha	122.8ha	128.3ha	地区計画、建築協定、地区街づくり協定などルール化された面積の累計
	75 都市計画道路の整備率	61.2%	2008.3	62.8%	62.0%	63.4%	62.9%	63.4%	64.0%	63.9%	64.7%	整備済延長/都市計画道路延長×100
76 市民1人あたりの都市公園面積	1.69㎡	2008.3	2.41㎡	2.17㎡	2.83㎡	2.30㎡	3.04㎡	3.04㎡	2.90㎡	4.00㎡	都市公園の総面積/人口	

めざす成果	成果を計る指標	前期基本計画期間						後期基本計画期間				計算式等
		計画策定時の値	把握年月	2011実績値(H23)	中間目標値(H23)	2013実績値(H25)	最終目標値(H25)	2014実績値(H26)	2015実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)	
地域交通の利便性が向上している	77 大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う市民の割合	74.2%	2008.6	75.8%	80.0%	75.7%	82.0%	—	—	80.0%	82.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	78 コミュニティバスの利用者数					375,072人		421,183人	570,281人	638,100人	721,500人	コミュニティバス全路線の年間利用者数
自転車を快適に利用している	79 自転車走行空間の総延長					20km		45km	64km	24km	35km	自転車専用道路+車道に自転車の通行位置と進行方向を明示した路線の整備延長
	80 適正駐輪率	97.4%	2008.3	98.4%	98.0%	99.0%	99.0%	98.9%	99.2%	99.0%	99.0%	適正駐輪台数/乗り入れ台数×100
生涯学習に取り組む人が増えている	81 市民1人あたりの学習センター年間利用回数	4.08回	2008.3	4.21回	4.13回	3.85回	4.23回	3.79回	3.90回	4.30回	4.58回	学習センター利用者数/人口
	前期まで ボランティア講師登録者数	200人	2008.3	199人	225人	206人	240人					ボランティア講師登録者数の累計
	82 団体企画提案の地域学習交流事業・市共催事業数					105件		88件	107件	123件	133件	学習団体が学習センターに事業計画を提出し、市が地域学習交流事業・市共催事業として承認した事業数
読書をする人が増えている	83 市民1人あたりの年間図書貸出冊数	3.90冊	2008.3	4.52冊	3.95冊	4.55冊	4.00冊	4.57冊	4.68冊	5.15冊	5.87冊	貸出冊数/人口
	84 図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数					2,119人		1,994人	1,850人	2,340人	2,580人	図書館や保育所などのおはなし会の参加者数の合計
スポーツを楽しむ人が増えている	85 日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合	33.2%	2008.6	36.1%	34.5%	33.8%	35.0%	—	—	37.1%	37.5%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	86 市民1人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	6.12回	2008.3	5.62回	6.15回	5.59回	6.30回	5.88回	5.57回	6.74回	6.85回	年間施設利用者数/人口
	87 総合型地域スポーツクラブの設置数					0団体		0団体	2団体	1団体	2団体	実績数による
多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている	88 文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	36.6%	2008.6	42.4%	37.0%	39.5%	38.0%	—	—	52.4%	56.4%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	前期まで 文化芸術事業(市主催・共催)来場者数	4,127人	2008.3	2,857人	4,500人	3,247人	4,600人					文化祭+さくら文芸祭+コミュニティ音楽館の入場者数
	89 YAMATO ART100来場者数					65,092人		122,004人	110,392人	110,000人	115,000人	YAMATO ART100として採用した文化芸術イベントの総来場者数
	90 芸術文化ホール年間利用者数							—	—	180,000人	230,000人	芸術文化ホール(メインホール・サブホール・ギャラリー・練習室)利用者数
郷土の文化がしっかりと引き継がれている	91 大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	35.8%	2008.6	41.5%	36.5%	39.2%	37.0%	—	—	42.5%	42.9%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	92 歴史文化施設の利用者数	40,999人	2008.3	67,621人	42,600人	41,405人	43,500人	43,151人	43,346人	50,300人	51,300人	郷土民家園+つる舞の里歴史資料館+下鶴間ふるさと館利用者(入園・入館者)数
あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている	93 地域に差別意識はないと思う市民の割合	60.7%	2008.6	65.8%	65.0%	66.6%	70.0%	—	—	73.0%	75.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
男女共同参画が実感できている	94 男女が平等であると感じる市民の割合	18.1%	2004.1	H25実施予定	35.0%	23.7%	35.0%	—	—	35.0%	35.0%	男女共同参画に関する市民意識調査による
	95 審議会、委員会などにおける女性委員の割合	24.4%	2008.3	24.7%	50.0%	25.1%	50.0%	25.7%	27.0%	50.0%	50.0%	女性委員数/全委員数×100

めざす成果	成果を計る指標	前期基本計画期間						後期基本計画期間				計算式等
		計画策定時の値	把握年月	2011実績値(H23)	中間目標値(H23)	2013実績値(H25)	最終目標値(H25)	2014実績値(H26)	2015実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)	
地域の中で多文化共生が行われている	96 国際交流が行われていると思う市民の割合	18.7%	2008.6	19.5%	20.0%	19.8%	25.0%	—	—	25.0%	30.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	97 外国人を支援するボランティア登録者数	130人	2008.3	182人	150人	286人	200人	326人	269人	280人	300人	事業、通訳翻訳、クロスカルチャーセミナー、日本語・学習支援のボランティア登録者数
商店街や企業が活発に活動している	98 大和市は、買い物しやすいと思う市民の割合	66.6%	2008.6	70.1%	68.0%	72.4%	70.0%	—	—	73.0%	75.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	99 市内商業者が商店会等に参加している割合	84.7%	2008.7	77.1%	85.0%	75.1%	85.0%	66.6%	74.4%	77.0%	77.0%	商店街団体の加入事業者数/市内商業者数(小売業+卸売業)×100
	100 法人設立数	336件	2008.3	256社	350件	298件	350件	336件	339件	317件	320件	市民税課への法人設立届の件数
市内で働く人が増え、生き生きと働いている	101 市内事業所従業者数	81,414人	2006.10	76,316人	81,500人	—	81,500人	83,734人	—	79,000人	80,000人	市内事業所で働く従業者数の累計(経済センサス)
	102 勤労者サービスセンターの加入者数	3,957人	2008.3	3,956人	4,300人	3,631人	4,500人	3,643人	3,635人	4,070人	4,150人	勤労者サービスセンターの加入者数の累計
	前期まで 勤労者サービスセンターの加入事業所数	890社	2008.3	896社	960社	868社	1,000社					勤労者サービスセンターの加入事業所数の累計
地域農産物の消費が安定的に行われている	103 直売所などで販売する農家数	146軒	2007.8	148軒	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒	直売所、庭先、スーパー等での販売及び学校給食との契約をしている農家数の合計
	104 朝霧市、夕やけ市、おさんぽマートの年間開催回数	197回	2008.3	205回	200回	197回	200回	205回	207回	200回	200回	朝霧市、夕やけ市、おさんぽマートの年間開催回数の合計(4月～3月)
「大和」に多くの人を訪れている	105 観光イベント・施設の総来場者数	1,435,042人	2008.3	1,206,565人	1,550,000人	1,413,966人	1,600,000人	1,587,294人	1,675,056人	1,530,000人	1,540,000人	各イベントの年間来場者数(主催者発表)及び施設来場者数の合計(4月～3月)
	106 フィルムコミッションに対応した撮影件数					67件		75件	62件	66件	72件	フィルムコミッションによる撮影件数(市及び民間施設を含む)
地域の活動が活発に行われている	107 地域活動に参加している市民等の割合	27.5%	2008.6	25.9%	30.0%	27.4%	33.0%	—	—	31.0%	33.0%	市民意識調査(平成20年6月、平成23年12月、平成26年5月実施)による
	108 自治会への加入世帯割合	74.0%	2008.6	71.1%	75.0%	70.2%	76.0%	69.1%	68.8%	72.7%	73.7%	自治会加入世帯/世帯数全体×100
	前期まで コミュニティセンターの利用率	61.0%	2008.3	57.8%	63.0%	57.7%	65.0%					延べ利用室数/延べ利用可能室数×100
	109 コミュニティセンターの利用者数					344,397人		347,397人	348,244人	359,000人	366,000人	全20館の年間利用者数の合計
公共を担う市民や事業者が増えている	110 NPO法人数	42団体	2008.10	62団体	54団体	68団体	70団体	66団体	66団体	87団体	97団体	主たる事務所の所在地を本市とする市内のNPO法人数
	111 市民活動センター利用登録団体数	252団体	2008.10	202団体	277団体	245団体	304団体	263団体	278団体	240団体	264団体	市民活動センター利用登録団体の数